

神崎市をより良いまちに 第3回中学生サミット会議

8月22日、市内3中学校の生徒会役員が意見交換を行う「第3回中学生サミット会議」が神崎市役所で開催されました。

「かせち(神崎・脊振・千代田)パワーで『神崎市の魅力』創出を提言しよう」というテーマのもと、8つの班に分かれて協議を行いました。生徒たちが積極的に発言したり、協力したりする姿が多くみられました。

発表では「特産品で、神崎アゲよう!」「来てくれた人をただでは帰さない!!」などさまざまなキャッチフレーズで提言がされました。

最後に、市長から各班の提言に対して講評があり、生徒たちは自信と課題を持つことができました。生徒たちからは、自身の考え方や話し合いへの関わり方が変化したなどの感想や今後の抱負が寄せられました。

問い合わせ 神崎市青少年育成市民会議 ☎37-3593



城原川ダムの早期建設・城原川河川改修の整備促進を国に要望

7月31日、神崎市・佐賀市で構成する「城原川改修・城原川ダム建設促進期成会(平成29年5月設立)」会長の實松市長と副会長の坂井佐賀市長は、期成会顧問の陣内孝雄元参議院議員・岩田和親衆議院議員、山下雄平参議院議員、佐賀県城原川ダム等対策室長とともに、城原川ダム事業および城原川河川改修事業の整備促進について、国土交通省・財務省へ要望活動を行いました。

要望先の国交省では、古川康副大臣ほか水嶋智国土交通事務次官、林正道水管理・国土保全局長、財務省では片岡誠司主計局主査と面談を行い、近年の気候変動により水災害へのリスクが一層高まっていることを踏まえ、地域住民が安全で安心して暮らせる地域づくりのためにも、一刻も早く城原川の治水対策を進めていただくよう強く要望しました。

主な要望内容

右記を含めた
9項目

- ・近年の気候変動による水災害のリスクが一層高まっている状況を踏まえ、城原川ダム事業および城原川の河川改修事業の整備促進
- ・城原川ダム事業に伴う水没予定地区住民への万全な生活再建の早期実現に向け重点的に取り組むとともに、用地補償に必要な予算を確保すること。

問い合わせ ダム対策課 ダム対策係 ☎37-3874



(左から)陣内氏、山下氏、實松市長、古川氏、坂井氏、岩田氏

市内の溝掃除は是非当社にお任せください!!

「水はけが悪い! ドブの臭いがする!
地区が高齢化で人手が足りない!!」

側溝清掃、水路の泥上げ、泥の処分までお任せ下さい。

神崎市神崎町志波屋1738-1

環整工業 有限会社

TEL 0952-52-2718



リーグ開幕を前にレッドトルネードSAGAが表敬訪問

8月26日、レッドトルネードSAGAが9月からのシーズン開幕を前に神崎市を訪問し、リーグ戦でのさらなる健闘を誓いました。

チームを代表し篠崎副GMは「昨シーズンを上回る成績を残したい」と意気込まれ、市長は「市民の皆さんの期待は大きい。序盤で弾みをつけ上位を目指してほしい」とエールを送りました。

初戦は9月6日に行われ、埼玉県の大崎オーソルを相手に28-28の同点でゲームを終えました。



神埼ジュニア新体操クラブ 九州大会団体優勝を市長へ報告

8月28日、市内の小学生新体操チーム「神埼ジュニア新体操クラブ」が8月に行われた九州大会で団体優勝、個人戦でも1位から3位までを独占し、市長を表敬訪問されました。

訪れた選手たちは一人ひとり自己紹介をし「日頃からリズム感や動きのキレを意識している」など勝因や感想を話しました。

監督の木原正憲さんは「レベルの高い技を披露したことが優勝に繋がったのでは。全国大会でも良い報告ができるように頑張りたい」と語り、市長は「次は全国大会の優勝報告を楽しみにしている」と激励しました。



神埼市長杯少年野球大会 子どもたちが白熱のプレー

8月16日・17日に市主催の第20回神埼市長杯少年野球大会が筑後川運動公園グラウンドで開催されました。

厳しい暑さの中での熱戦が繰り広げられ、球児たちは最後まで諦めない全力プレーで会場を盛り上げました。

決勝戦では「千代田西部少年野球クラブ」と「西郷少年野球クラブ」が対戦し「千代田西部少年野球クラブ」が見事優勝しました。



▲ 千代田西部
少年野球クラブ

▲ 西郷少年
野球クラブ

ひよ子こども園グループ



園長先生は東京大学や医学部へも
合格者を輩出している教育者！？

幼児期は「子どもの主体性を伸ばす
保育・教育」を通して飛躍の土台づくり

詳しくは➡

